

令和2年度都市科学部運営諮問会議  
令和2年度にかかる評価結果

【1】都市科学部における学生の受入れ

1. 適切に学生受入が実施され、入学定員と実入学者数との関係が適切でしょうか？

評価： ① まったく適切でない ②不十分である ③適切である ④非常に適切である  
3

コメント：

○令和3年は個別入試をやめたことで建築学科の志願者数が顕著に減っている。アドミッション・ポリシーに沿った補講については、適切に実施していただきたい。

○コロナの影響で、志願者数は減少しながらも試験合格点は上昇しているとのことで、純粋に都市科学部に入学したい生徒が受験した印象を受けます。次年度以降の志願者数が注目されるところです。

○新型コロナウイルス禍での入試となった。個別学力検査の実施がなく、また、志願者数の減があったもの、受験生への安全確保の点からもやむを得ないとする。学生の受け入れについては適切であったと評価する。

【2】都市科学部における教育

1. 都市科学部の特色が反映された教育が行われているでしょうか？

(1) ①グローバルとローカルの接点としての大都市、②リスク共生、③イノベーション)を重視した教育が行われているでしょうか。

評価： ① まったく行われていない ②不十分である ③行われている ④非常によく行われている  
4

コメント：

○都市科学事典の刊行は素晴らしいので、今後、都市科学A、B、Cの授業にも活かしてさらに充実した教育としていただきたい。

○コロナ過の困難な状況にあつて、オンラインを活用し様々な企画を実施されるなど、工夫された教育を展開されてこられたと感じます。

○特色ある活動を通して都市科学部の魅力を発信していることに高く評価したい。

(2) 分野横断型の教育が積極的に推進されているでしょうか。

評価： ① まったく推進されていない ②不十分である ③推進されている ④非常によく推進されている  
3.75

コメント：

○都市科学A、B、Cの授業アンケートの自由記述欄から、分野横断的に学ぶことができ良かったという意見も多く、よく推進されていると思う。より多くの学生が分野横断的に学ぶことの意義を理解できるよう、今後も授業の改善に努めていただきたい。

○やはり、コロナ過の困難な状況にあつて、工夫された教育を展開されてこられたと感じます。都市科学辞典も発刊されたということで、今後ますます、教育の軸足が定まられるのではないかと期待されます。

○SDGsへの広がりもあるが、今後も大いに推進してほしい。

(3) グローバル人材の育成に積極的に取り組んでいるでしょうか。

評価： <b>3. 25</b>	① まったく取り組んでいない ②不十分である ③取り組んでいる ④非常によく取り組んでいる
---------------------	---

コメント：

○都市社会共生学科と建築学科で帰国生入試がスタートした。少人数ではあるが、学生の多様性の確保や授業の活性化、グローバル人材の育成といった成果にもつながっていくかどうか今後注視したい。  
○新型コロナ禍における社会構造がグローバル化がストップしているが、出来る得る限りの取組みとして非常によく取り組んでいる。今後何がグローバルであるのか、社会が求める人材の資質・能力をその都度振り返りながら、積極的に推進してほしい。

(4) かながわ・ヨコハマをフィールドとした実践的な教育に積極的に取り組んでいるでしょうか。

評価： <b>3. 25</b>	①まったく取り組んでいない ②不十分である ③取り組んでいる ④非常によく取り組んでいる
---------------------	--

コメント：

○今年度についても、貴学もご参画の「次代のまちづくり」の推進に係る四者連携に基づく一環として、貴学の「NEW NEW TOWN PROJECT」の地域課題実習と連携しました形で、コロナ禍の難しい環境下の中、「万騎が原中央商店街」の活性化における活用実証実験を貴学学生の皆様と一緒に企画、実施（マップ作成）いたしました。学生の皆様の真剣な取組みが報告されています。  
○これもコロナ禍では難しい状況と思っています。それでも副市長様を招いての講演会を実施されるなど、懸命に取り組まれていると感じます。やはり状況の好転を待ちたいところです。  
○都市の課題を捉えよく取り組んでいる。今後も魅力ある実践的な教育を進めてほしい。

### 【3】その他

1. 教育課程に対応した設備・施設等が十分整備され適切でしょうか？

評価： <b>3. 25</b>	①まったく適切でない ②不十分である ③適切である ④非常に適切である
---------------------	-------------------------------------

コメント：

○基本的な改修はもとより、遠隔授業システムの導入など、着実に進められていると感じます。ただし、この項目については、不断の整備が必要と考えられます。  
○十分とは言えない。財政的支援も必要ではないか。

2. 財務基盤は適切でしょうか、また、管理運営体制（事務組織も含む）が適切に整備されているでしょうか？

評価： <b>3</b>	① まったく適切でない ②不十分である ③適切である ④非常に適切である
-----------------	--------------------------------------

コメント：

○順調に財務基盤および管理運営体制を固められておられるように見受けます。ただし、この項目につきましても、不断の整備が必要と考えられます。

○横浜国大全体としての取組が必要であるとする。

### 3. 外部評価の体制が整備され、機能しているでしょうか？

評価： ①まったく機能していない ②不十分である ③機能している ④非常によく機能している

3. 5

コメント：

○自分がその一端を担っていることを思えば④と評価することは気恥ずかしいのですが、常日頃いただいているご連絡や対応の丁寧さからも、貴学部が外部評価に対して真摯に向き合っておられると感じています。

○非常によく機能している。

### 4. 新型コロナウイルス状況への対応は適切に行われているでしょうか？

評価： ① まったく適切でない ②不十分である ③適切である ④非常に適切である

3. 5

コメント：

○1年生全員に個別面談を実施するなど丁寧な対応がなされている。コロナ禍はまだ当面の間続くと想定されるため、様々な不安を抱えている学生がいつでも安心して大学に相談できるような工夫をお願いしたい。

○今年度、この項目の評価で④がつく大学や学校は、ほとんどないのではと思われます。その中でも、貴学部では可能な範囲での対応を取られてきたと感じております。どうやら、次年度以降も対応を継続せざるを得ない感じですので、今年度のご経験を活かしていただければと思います。

○適切な対応をしっかりと行われていると評価する。

全体を通して、ご意見・ご提言がございましたら、ご記入をお願い致します。

○都市科学 A、B、C は都市科学部における教育の特色をよく反映している授業と思われるので、授業の概要が分かる資料（令和元年度の第1回運営諮問会議の資料4の一部に相当するような資料）も、運営諮問会議の資料として提供していただくと良いと思う。

○令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界中、日本中で経済活動をはじめ、人々の日常生活においてもさまざまな活動が制限される等混乱した状況が続き、貴学をはじめとする学校関係の運営については、大変ご苦労されていると感じております。

そのような環境下の中、令和2年度はオンラインを使った遠隔授業をはじめとするお取り組みをお聞きしました。その中でも「1年生を支援する自助活動」、「1年生全員への個別面談の実施」、「学生と教職員が語る会」の取り組み等オンラインを使用して、学生と繋がりを重要視され、メンタル的なケアも含めご対応されていることを知りまして、大変敬服している次第であります。

これからも学生第一の学部運営、教育環境の充実、発展を心より祈念いたします。

今後ともよろしく願い申し上げます。

○この3月に初めての卒業生を送り出されるとのことで、誠におめでとうございます。私的には、卒業生の活躍ぶりこそ、学校の教育体制を評価しうる第一の指標と考えております。既にご準備されておられるかもしれませんが卒業生の声が継続的に大学に届く体制があればと思います。ともあれこの1年、本当にお疲れ様でございました。

都市科学辞典、ありがたく拝読させていただきます。

○学長先生をはじめ、一枚岩で取り組まれている様子が感じられた。今年度は新型コロナウイルス感染症との対応が求められる中、今出来得る対応をされているとともに、学生への学びの保証に取り組まれている真摯な姿を伝わってきた。さらに充実した教育活動を展開してほしい。大いに期待しています。